

町報

No.253

こうふ

1992
3月

発行：江府町役場

〒689-44 鳥取県日野郡江府町大字江尾475
☎0859 (75) 2211 F A X 0859 (75) 2389

編集：総務課

印刷：富士印刷



待望の国道昇格

国道482号線実現へ

～ 江府中和用瀬線など来年四月スタート～

まちのうごき		
(平成4年2月末)		
		前月比
世帯数	1,211	(±0)
人口	4,620人	(-7)
(男)	2,231人	(+2)
(女)	2,389人	(-9)



総務

行政座談会を
 1月12日 佐川部落
 1月18日 袋原部落
 2月17日 大満部落
 で開催しました。
 部落住民から行政に対する
 要望、意見を聞くとともに交
 流の場としました。

平成4年春季火災予防運動
 が3月1日から一週間、全国
 一斉に行われました。
 これは火災が発生しやすい
 時期を迎え、火災予防思想の
 一層の普及、財産の損失を防
 ぐことを目的に毎年実施され
 るものです。
 期間中、町消防団では江府
 消防署と合同で各部落消防水
 利及びポンプ点検を実施しま

税務

平成3年分所得税の確定申
 告(2月17日~3月16日)の
 ための納税相談を2月25日か
 ら3月12日の間、役場会議室
 で行いました。

企画開発

第二回奥大山チロルの里全
 国スキーマラソン大会を、三
 月一日(日)、大山鏡ヶ成国

した。

民休暇村で開催しました。

この大会は、恵まれた奥大
 山の雪を利用して地域づくり
 に役立てよう、と企画された
 もので冬のイベントとして昨
 年から実施しているものです。
 霧のかかったあいにくの天
 候にもかかわらず、京都府を
 始め西日本各地から三五〇名
 が参加。午前十時二〇分、選
 手全員が一斉にスタート。歩
 くスキーの部(三km・五km・
 一〇km)では景色を見ながら
 完歩をめざし、競技の部(五
 km・一〇km・一五km)では時

間を競いました。

この大会には、一五〇名の
 役員の協力があり、成功裡に
 終了することができました。

同和対策

部落解放基本法制定要求中
 央集会在、一月二八日と二月
 二一日東京で行われ、本町か
 らも町長を始め町職員、町議
 会議員が出席しました。

部落解放基本法制定に向け
 ての様々な取り組みの結果、
 不完全とはいいながら「地域
 改善対策特定事業に係る国の
 財政上の特別措置に関する法

律」が四月から五年間延長さ

れることになりました。これ
 により、これまでの五五事業
 から四五事業に絞り込むほか
 一部事業の繰り上げ実施、地
 域改善事業の一般事業への移
 行が行われることとなります。

民生

一月二九日、町山村開発セ
 ンターにおいて機能訓練を行
 いました。

八名の参加者があり、六名
 のボランティアの協力を得て
 餅つきをして機能訓練を行
 いました。

二月六日、平成四年度子供
 の国保育園入園説明会を保育
 園において行いました。

入園希望者は一一九名で、
 内三歳未満児は一三名の入園
 希望がありました。

▶歩くスキーのゴールでは
 完歩証が手渡されました



奥大山チロルの里 (第2回) 全国スキーマラソン大会

各地から350名が参加



▲参加者350人が一斉にスタート

二月二〇日、日野町江府町
 日南町衛生施設組合議会定例
 会が開催され、平成四年度予
 算案及び平成三年度補正予算
 案について審議されました。
 予算総額一億六六〇万円の
 内江府町の負担金は、二、八
 二六万六千円です。

農 林

二月一〇日、町山村開発センターにおいて江府町水田農業確立対策審議会を開催し、平成四年度水田転作等目標面積の配分方法について協議決定、二月二六日には、各部落区長、農事組合長及び転作推進委員長協議会を開催して各部落に第一次配分しました。これをもとに、各部落の調整要望を取りまとめ、三月一二日付で確定配分しました。

三月二日、「江府町元氣な村づくり推進会議」が発足しました。

これは、農業後継者対策を目的とした、財団法人鳥取県農業担い手育成基金の設立にともない、本町の窓口機関として、農協・農業委員会・各種団体等の代表者で組織したもので、会長に福田和也江府中学校長を選出しました。

教 育

一月二七日、第一八回奥大山スキー大会を奥大山スキー

場で開催しました。日野郡内小・中学生及び一般一三〇名の参加があり、大回転と距離競技をおこない盛大に開催できました。

二月二六日、江府町同和教育推進協議会研修会を山村開発センターで行いました。

町内職域団体から代表五〇名が、啓発映画と講演により研修を行いました。

また、「職場における同和教育について」をテーマに二分科会に分かれて研究討議を深めました。

ご協力ありがとうございました 五十五名が愛の献血

三月十二日、町内三か所で行なわれた献血事業に五十五名の方の温かいご協力をいただきました。

献血されたみなさんはつきのとおりです。(太字は、四〇〇CC献血の方です。)

—敬称略—

藤田 勝美、 廣藤 早苗

ニューメディアを活用して地域の情報化と活性化を図ろうとする動きは、全国的な規模で波及しており、なかでもCATVへの事業化熱はここ数年活発なものとなつています。こうしたなか、江府町CATV事業研究会(白石秀之会長、一七人)では、昨年六月福田町長から諮問を受けて以来、視察研修を行うなど江府町におけるCATVの在り方について検討を重ね、このほど答申書をまとめ、三月一七日町長に提出しました。

答申書によると、江府町の地域特性に最適な情報システムとしてCATVをとらえたうえで、このCATV事業は町内全世帯を対象とし、町営による広報、告知等を中心としてその利用料金は当分の間無料とするよう条件づけています。

これらを前提条件として、当面は地元のイベントなどを紹介する地元情報放送二チャンネル、NHKや民放などの地元テレビ放送五チャンネル、希望者のみ有料で衛星放送三

- | | |
|-------|-------|
| 土井垣史朗 | 上田 重樹 |
| 古川 武己 | 砂口 正文 |
| 細田 有 | 砂原 和省 |
| 堀 誉 | 水戸 麗子 |
| 山口 登広 | 大谷 康弘 |
| 栗林 範之 | 中原 勝江 |
| 澤口 勉 | 藤原 泰久 |
| 平川 陽之 | 西村 弘樹 |
| 大岩 徹 | 加藤 誉正 |
| 藤原 紀子 | 相見 照美 |
| 長瀬 雅弘 | 志水 義市 |
| 松下 求 | 油田 康生 |
| 田中 進 | 中野 厚志 |
| 上口 一郎 | 中川 秀樹 |
| 大岩 慶恵 | 福川 秀樹 |
| 小林 健治 | 中本 隆志 |
| 森田 哲也 | 瀬島 明正 |
| 三上由理子 | 太田 厚 |
| 末次 義晃 | 梅林 美鈴 |
| 松原 俊二 | 阿部 朝親 |
| 國谷 美晴 | 松本美保子 |
| 安永かおり | 中原 典子 |
| 梅林 洋彦 | 牧内 輝昭 |
| 山崎 直政 | 園木 哲夫 |
| 平田英三郎 | 岡田 憲典 |
| 滝野 忠文 | 原田千佳史 |
| 小笠原憲義 | |

〈江府町CATV事業研究会答申〉 テレビ共聴施設を利用した CATVの早期実現を!

(ケーブルテレビジョン)

正しい救急処置で 大切な命を守ろう まちのわだい

— 30人が救急法の実技講習 —

三月一日、江府町山村開発センターにおいて救急法講習会が開催されました。これは、根雨保健所が江府消防署の協力を得て、一般町民・町内事業所の従業員を対象に、応急手当の方法、人工呼吸法等の実技講習を行ったものです。

高齢者の増加等に伴い、火傷、誤飲、転倒等の事故や成人病による発作が起りやすく



◀ダミー人形を使って人工呼吸法の実技講習

なっています。これらによる死亡や後遺症を防ぐためには正しい救急処置を素早く的確に行うことが必要です。この講習会には、約三〇名が参加。江府消防署員の指導のもと、実際に三角巾等を使い、止血法、骨折箇所の固定方法やダミー人形を使った人工呼吸法などに真剣に取り組んでいました。

〈木工ロクロ教室閉講式〉

特産品開発へむけて

8人の受講生に修了証書

三月一日、山村開発センターにおいて、木工ロクロ教室の閉講式が行われました。木工ロクロ教室は、昨年一〇月に開講。岡山県大佐町の三浦邦夫先生を講師に迎え、一〇名の皆さんが二班に分かれて受講。事情により中退された二名を除き、木工ロクロの技術を習得した八名の方が閉講式を迎え、町長と三浦先生からそれぞれ生徒全員に修了証書が手渡されました。

この木工ロクロ教室は、木工ロクロに興味のある方に技



▲三浦先生を囲んで修了記念撮影

初心者を対象にしたこの教室は毎週一回行われ、一〇回の講座で全員が電動ロクロ旋盤の使い方を習得し、丸盆・茶筒・菓子器などを一人何点も作りあげました。この日は、生徒それぞれが作品を持ち寄り展示して、一つひとつ手にとりながら苦労話に花を咲かせました。

術を習得してもらい、特産品開発など町の活性化につながれば、と企画されたもの。



◀とても初心者と思えないような作品がずらり。



第2次江府町総合計画 (後期5か年計画) の策定について その②

(5) 先月号で江府町総合計画の策定経過について紹介しましたが、今回は町内を地形及び社会的条件を考慮したゾーン(区域)区分について紹介し

ます。本町は町の大半が山林であり、またその半分以上が高原で占められています。そのため限られた資源を有効に利用

して生活及び生産の向上を図っていくことが必要となります。このため、次の七つの区分に分けて土地の有効利用を進めて行こうと考えています。

(1) 観光レクリエーションゾーン

ふるさと大山ふれあいリゾート構想の一端として、奥大山チロルの里構想の実現に向け観光レクリエーション施設の整備を推進するとともに、広域的な観光ネットワークの形成を図る。

(2) 工業・研究ゾーン

最近の高度情報化の進展により、高度な研究機関を核として、地域の活性化を目指す動きの中で、地域間のネットワークを通じて新しいタイプの地域づくりを目指し、長期的雇用の場の確保と地域文化の活性化が望まれる。その為に大学等の研究機関、民間企業の研究所などの誘致を行な

(3) 商業ゾーン

って外部からの人口増と町民の働き場の確保を図る。

最近の消費は価格より商品質で高付加価値の品を求める傾向にあるため、消費者の思考の変動を的確に捕らえた商品の開発から生産販売まで考えたマーケティングを推進する必要があります。そのため大型駐車場付店舗の確保が必要となると思われる。

(4) ネットワークゾーン

本町の生産基盤である農業について、地域農業の経済力向上と生産団地化及び組織化等により生産コスト低減を図り、また生産性の高い高付加価値な地域農業を展開するとともに、各ゾーンと連携した産業の配送センターの機能を持たせ、京阪神市場への販路拡大基地としての確立を図る。

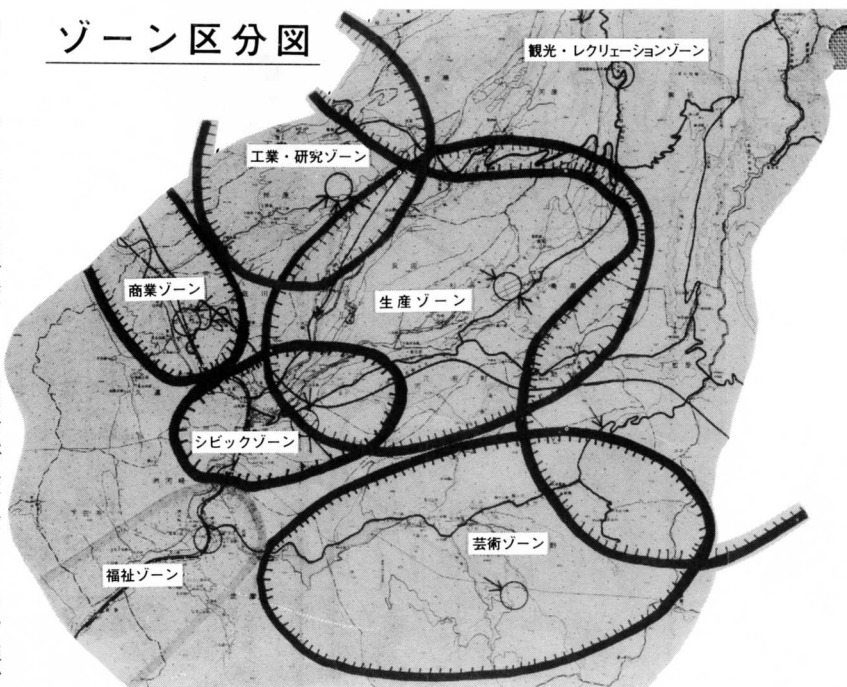
(5) シビックゾーン

現在の町の主な施設を効率よく、もっと便利なものとするため、公共的施設を集合したワンセンタースystemを取り入れて、行政サービス、文化教育、コミュニティ等の業務センターを配置し集約的な施設の設置を図って行く。

(6) 福祉ゾーン

町民の高齢化及び核家族化等により老人世帯の増加が見込まれるため、その対策が必

ゾーン区分図



要となる。そのための対策として、特別養護老人ホーム、ヘルスケア機能付きの町営住宅や福祉センターなどが集約された福祉施設ゾーンの確立を図る。

(7) 芸術ゾーン

人々の要求の多様化と個性化が進み、物の豊かさから心の豊かさへ、量より質へ、ハード重視からソフト重視へと

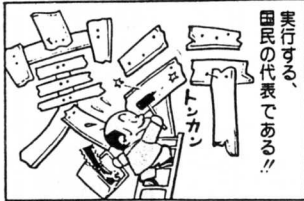
価値観が変化するなか、誰でも自由に学習したり、文化活動や文化交流など実施して行ける場所の提供についても考えていかなければならない。それぞれの施策別のゾーンニ

ングにより、地域開発に取り組みながら、二十一世紀に向けて江府町の総合的な発展方向と施策を明らかにしてあります。

選挙一口メモ(マンガ編)

政治家とは!?

はちの やすひこ



平成4年度 狂犬病
予防注射日程

生後91日以上の子犬を飼っている方は必ず受けてください。その際、印鑑を必ず持参してください。

- 1、犬鑑札交付手数料 2,100円
- 2、注射済票交付手数料 480円
- 3、予 防 注 射 2,090円
- 計 4,670円

お知らせ

月	日	平成4年度 不要犬引取り日	4月13日 (月)	4月10日 (金)	4月9日 (木)	月 日																		
4	28																							
5	28																							
6	29																							
7	28					時																		
8	28																							
9	28																							
10	28					間																		
11	30																							
12	25																							
1	28																							
2	26																							
3	29																							
			江	佐	上	袋	西	吉	貝	明	深	日	池	農	洲	荒	下	御	美	小	助	宮	宮	場
			府	川	柳	原	成	原	大	田	山	上	上	協	河	田	安	机	用	原	蚊	市	市	所
			町	原	原	公	公	公	河	道	口	内	内	神	崎	井	公	公	公	屋	原	原	原	所
			役	公	公	民	民	民	原	会	会	会	会	支	会	会	民	民	民	公	民	公	公	所
			場	民	民	館	館	館	公	館	館	館	所	所	館	館	館	館	館	館	館	館	館	館

国土緑化運動強調期間

3~5月

緑が育つ 人が育つ
緑の大地 夢ある国土



国民年金の保険料が四月から、一か月九、七〇〇円になります。

国民年金制度を円滑に運営し、給付の引き上げ等いくつかの内容充実をはかっているためには、国民年金の保険料額は、将来にわたって、財政の均衡を保つものでなければなりません。

年金制度は、働く世代と年金世代が助け合って行くことが必要であり、みなさんもや

がて、年金を受ける世代になります。

「自分のために納める」のはもちろん「皆が助け合う」制度です。

保険料を毎月納めることに面倒な人などは、将来の定められた期間の保険料を前納することができ、割引もあり、毎月納める手数もはぶけて非常に便利です。

詳しくは役場民生課福祉係にお問い合わせください。



四月から国民年金の
保険料が変わります

妊娠から出産・子育てまで



夫のためのマタニティ情報

マサリソク研究所代表 たけながかずこ

女性たちが、家庭出産や夫の立ち会いなど出産方法にこだわりの最大キープポイントは、夫に何とか出産と育児に、具体的なかわりをもってもらいたいと願ったことにあると思います。

女性は何が不安なのか

夫が仕事や接待に精出しているときに、いつの間にか子どもが産まれ、実家に帰していれば産後の授乳の苦労も知らず、自然に子どもは育っている——こうした状況が、女性たちには不安なのです。何が不安かって？ それで本当に夫が妻や子どもに、深い愛情を感じるようになるのかどうか不安なのです。女性が楽をしたいとか、私だけが苦勞するのはイヤといった表面的な理由だけではないのです（言葉ではそんなことないでしょうが）。

出産方法を話し合おう

実際、胎児から新生児までの医学的な研究結果は、出産後なるべく早くから接触を繰り返したほうが、「母と父と子の絆」はつくられやすいことを証明しています。そこで、出産方法や病院をどこにするかが大事になってくるのです。

「里帰り出産」の効用

日本には、独特の「里帰り出産」があります。一般に、里帰り出産の時期は妊娠八か月ころからで、故郷の病院で診察を受けて出産に臨みます。産後は、授乳のリズムが整い、育児も一段落する生後三か月まで休養するのが、伝統的スタイルです。この里帰り出産の一番の効用は、若い夫婦が生活と育児に対して、経済的にも精神的にもたいへん助かることでしょう。近年、特に外国の研究者た

ちの間で、「病院も二三日で退院。その後は二人だけでキリキリ舞いをしてる外国の夫婦に比べたら実家の母親のもとで、安心して後の生活を過ごせる日本の里帰り出産は、世代を越えた女性同士の素晴らしいサポート・システムだ」と高く評価もされています。

しかし一方で、産前産後の五か月間も、夫婦が離れて暮らすのはどうかなど、問題がないわけではありません。また、最近はそのスタイルが崩れつつあります。というのは、実家の側に、じっくりと面倒をみる経済的・スペース的な余裕がなくなってきたからです。電話相談でも、この里帰り出産をするべきかどうかという質問が多いので、次回はこのことをお話ししましょう。



〈町制40周年記念事業〉

『NHKのだ自慢』の開催決定！

とき (予選) 平成4年6月27日(土)
(収録) 平成4年6月28日(日)
ところ 江府町総合体育館

出場者及び入場者の募集については、別途お知らせします。

人の動き



2月届け (敬称略)

□お誕生おめでとう

佐川 渡邊 寛 光彦長男

□結婚を祝します

高津 康弘 御机
長岡 純子 京都市から
松原 俊二 俣野
渡邊 奈苗 境港市から
谷口 茂岐 美用
田中美由紀 西伯郡西伯町から

□こめい福を祈ります

宮市 長岡ふくよ 93歳佳文宅
吉原 清水 しま 83歳 久宅
洲河崎 浦部美千代 50歳俊六宅
本一 森 並子 79歳正幸宅
本五 岡田 秀男 71歳照道宅
宮の前 森 初子 69歳次郎宅

□香典返しとして

宮市 長岡 佳文 様
(祖母ふくよ様ご逝去)
洲河崎 浦部 俊六 様
(妻美代子様ご逝去)

吉原 清水 久 様
(母しま様ご逝去)

本五 岡田 照道 様
(父秀男様ご逝去)

□内祝として

本五 仲嶋美喜子 様
(ご本人様退院)
小原 谷口ふみ子 様
(ご本人様退院)

柿原 加藤 勇 様
(ご本人様退院)

貝田 遠藤 延 様
(ご本人様退院)

本一 森 並子 様
(ご本人様退院)

ありがとうございました

2月中寄託分

- 新二 古川 勇 様
(ご本人様退院)
助 沢 井上 一誠 様
(ご本人様退院)
下蚊屋 筒井 太郎 様
(ご本人様退院)
小原 川上 肇 様
(ご本人様退院)
佐川 加藤 正美 様
(ご本人様退院)

江府町社会福祉協議会
善意銀行受払報告
1、一月末累計額 二、七七〇、一五五円
2、二月中寄託額 一七五、〇〇〇円
預金利息 二二、四七〇円
合計 二、九五七、六二五円

平成4年4月開設
行政、心配ごと相談所
人権、き 4月8日(水)正午七時
とろ 午前九時開発セーター
と相談員 江府町村開権擁護委員
相談員 野口久夫 是人権擁護委員

アポイントメント商法に
ご注意!

電話やハガキで、「あなたにプレゼントがあります。」と呼び出され、出向いたところ、高額なパソコンや英会話のセットの契約をしまった、というような二〇歳代の若者の苦情が、県立消費生活センターに数多く寄せられています。

◎事例
「大手電気メーカーからの記念品を預かっている。」というハガキが来たので、会場にいったところ、「今、興味のある」といって、

トラブルに巻き込まれないために

このような販売方法は「アポイントメント商法」と呼ばれ、ハガキによる呼び出しのほか、電話の場合、男性には若い女性、女性には若い男性から、ホテルや喫茶店などに呼び出され、長時間にわたる勧誘を受け、結局、 unnecessary 商品の契約をさせられてしまう、というものです。

トラブルに巻き込まれない
なお、このような悪質な商法に関する苦情・相談は、県立消費者センター(☎〇八五九一三四一―二六四八)で受付けています。